

学校コード F142110111189

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

長崎大学大学院 プラネタリーヘルス学環

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人 長崎大学
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	政策企画部 政策企画課班員 モトマツ ヒロキ 本松 大樹 研究国際部 熱帯医学研究支 ヒグチ タツヤ 援課 樋口 達也
電話番号	095-819-2014
(夜間)	095-819-2014
e-mail	soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

プラネタリーヘルス学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人長崎大学

(2) 大学名

長崎大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(コウノ シゲル) 河野 茂 (平成29年10月)	-	
学環長	(ワタナベ チホ) 渡辺 知保 (令和4年10月)	-	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
プラネタリーヘルス学 博士(公衆衛生学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	3年	5人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	15人		令和4年10月より学生受入

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	五人	一人	五人						令和5年度入試は5月に入学試験を実施するため、志願者数まで記載
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	7	(-)	8						
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	7	(-)	(-)						
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	(-)	(-)						
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5	(-)	(-)						
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **転入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの**入学定員超過率の平均**を記入してください。計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の**入学定員超過率の平均**を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の**控除後の「平均入学定員超過率」**を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する**学生数の割合**を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の**収容定員充足率**を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により**修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」**を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	5 [3] ()	— [—] (—)	5 [3] ()	令和4年10月より学生受入
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次											— [—] (—)	— [—] (—)	
計			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)					— [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和4年度	0人	0人	平成30年度	—人	—人	—
			令和元年度	—人	—人	—
			令和2年度	—人	—人	—
			令和3年度	—人	—人	—
			令和4年度	—人	—人	—
令和5年度	5人	0人	平成30年度	—人	—人	—
			令和元年度	—人	—人	—
			令和2年度	—人	—人	—
			令和3年度	—人	—人	—
			令和4年度	—人	—人	—
令和5年度	—人	—人	—	—		
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ブレナタリーヘルス学環（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ブレナタリーヘルス学環	1①・②	2			12	10					2	
	小計（1科目）	—	2	0	0	12	10	0	0	0	0	2	
	政策とシステム	政策過程特論	1④	1				1					
		実装科学特論	1③	1				1			1		1
		保健システム特論	2①	1				1			1		
		小計（3科目）	—	3	0	0	2	1	0	2	0	0	1
	データと分析	政策分析法特論	2②	1			2	1			1		1
		小計（1科目）	—	1	0	0	2	1	0	1	0	0	1
	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	1①	1				1					1
		渉外マネジメント特論	1②	1			1	1					
		グローバルヘルスガバナンス特論	1③・④	1			2						2
		小計（3科目）	—	3	0	0	4	2	0	0	0	0	2
	実習科目	実務研修	1夏期	2			24	14			3		5
		小計（1科目）	—	2	0	0	24	14	0	3	0	0	5
	演習科目	プロジェクト演習	2④～3通	4			24	14			3		5
小計（1科目）		—	4	0	0	24	14	0	3	0	0	5	
合計（10科目）			—	15	0	0	24	14	0	3	0	8	
卒業要件及び履修方法													
3年以上在学し、必修科目15単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ブレナタリーヘルス学環	1①・②	2			12	10					2	
	小計（1科目）	—	2	0	0	12	10	0	0	0	0	2	
	政策とシステム	政策過程特論	2①	1				1					
		実装科学特論	1④	1				1			1		1
		保健システム特論	1③	1				1		1			
		小計（3科目）	—	3	0	0	2	2	0	1	0	0	1
	データと分析	政策分析法特論	2②	1			2	1					2
		小計（1科目）	—	1	0	0	2	1	0	0	0	0	2
	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	1②	1									1
		渉外マネジメント特論	1③	1									1
		グローバルヘルスガバナンス特論	1③・④	1			2						2
		小計（3科目）	—	3	0	0	2	0	0	0	0	0	4
	実習科目	実務研修	1夏期	2			24	14			2		6
		小計（1科目）	—	2	0	0	24	14	0	2	0	0	6
	演習科目	DrPHプロジェクト	2④～3通	4			24	14			2		6
小計（1科目）		—	4	0	0	24	14	0	2	0	0	6	
合計（10科目）			—	15	0	0	24	14	0	2	0	9	
卒業要件及び履修方法													
3年以上在学し、必修科目15単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ブラネタリーヘルステ論	1①・②	2			12	10					2
	小計(1科目)	—	2	0	0	12	10	0	0	0	0	2
	政策過程特論	1④	1				1					
	実装科学特論	1③	1			1				1		1
	保健システム特論	2①	1			1	1					
	小計(3科目)	—	3	0	0	2	2	0	1	0	0	1
	政策分析法特論	2②	1			2	1					2
	小計(1科目)	—	1	0	0	2	1	0	0	0	0	2
	組織マネジメント特論	1①	1									2
	渉外マネジメント特論	1②	1			1	1					
	グローバルヘルスガバナンス特論	1③・④	1			2						2
	小計(3科目)	—	3	0	0	3	1	0	0	0	0	4
	実務研修	1夏期	2			24	14		1			7
	小計(1科目)	—	2	0	0	24	14	0	1	0	0	7
	プロジェクト演習	2④～3通	4			24	14		1			7
	小計(1科目)	—	4	0	0	24	14	0	1	0	0	7
	合計(10科目)	—	—	15	0	0	24	14	0	1	0	10
卒業要件及び履修方法												
3年以上在学し、必修科目15単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 助教1名の就任辞退(他大学転出)に伴い、「政策分析法特論」の専任教員等の配置を「教授2」、「准教授1」、「助教1」及び「兼任1」から「教授2」、「准教授1」及び「兼任2」に変更。
- ・ 准教授1名の就任辞退(他大学転出)により「組織マネジメント特論」の専任教員等の配置を「准教授1」、「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・ 上述の准教授1名、助教1名の就任辞退に加え、助教1名の准教授昇任により「実務研修」及び「プロジェクト演習」の専任教員配置を「教授24」、「准教授14」、「助教3」及び「兼任5」から「教授24」、「准教授14」、「助教1」及び「兼任7」に変更。

【令和5年度】

- ・ 科目の内容をより明確にするため、「プロジェクト演習」を「DrPHプロジェクト」に変更。
- ・ 公衆衛生以外の分野から進学する学生の基礎的知識を補完するための補完科目(単位認定なし)の授業も考慮した上で配当年次を見直したため、「政策課程特論」の配当年次を1④から2①に変更
- ・ 公衆衛生以外の分野から進学する学生の基礎的知識を補完するための補完科目(単位認定なし)の授業も考慮した上で配当年次を見直したため、「実装科学特論」の配当年次を1③から1④に変更
- ・ 公衆衛生以外の分野から進学する学生の基礎的知識を補完するための補完科目(単位認定なし)の授業も考慮した上で配当年次を見直したため、「保健システム特論」の配当年次を2①から1③に変更
- ・ 公衆衛生以外の分野から進学する学生の基礎的知識を補完するための補完科目(単位認定なし)の授業も考慮した上で配当年次を見直したため、「組織マネジメント特論」の配当年次を1①から1②に変更
- ・ 公衆衛生以外の分野から進学する学生の基礎的知識を補完するための補完科目(単位認定なし)の授業も考慮した上で配当年次を見直したため、「渉外マネジメント特論」の配当年次を1②から1③に変更
- ・ 「組織マネジメント特論」の科目教育体制見直しのため、「兼任2」から「兼任1」に変更
- ・ 教授1名の他大学への転出に伴い、「渉外マネジメント特論」の科目教育体制見直しのため、配置を「教授1」「准教授1」から、「兼任1」に変更
- ・ 教授1名の他大学への転出に加え、教授1名、助教1名の就任に伴い、「実務研修」及び「DrPHプロジェクト」の専任教員の配置を「助教1」から「助教2」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	0 科目	0 科目	10 科目	10 科目 []	0 科目 []	0 科目 []	10 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	組織マネジメント特論	1	1	専門	必修	教育体制の見直しのため、担当を変更し2年次1クォーターに実施予定
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった授業科目「組織マネジメント特論」は、2年次1クォーターに実施することから学生への影響はないと考える。全学生には連絡ツール及びメールにより周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{10} = \boxed{10} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
校 地 等	校舎敷地	263,697 m ² 270,399 m² 272,093 m ²	0 m ²	0 m ²	263,697 m ² 270,399 m² 272,093 m ²	借用面積229m ²		
	運動場用地	104,802 m ² 110,819 m²	0 m ²	0 m ²	104,802 m ² 110,819 m²			
	小 計	368,499 m ² 375,201 m² 382,912 m ²	0 m ²	0 m ²	368,499 m ² 375,201 m² 382,912 m ²			
	そ の 他	294,390 m ² 287,688 m² 279,977 m ²	0 m ²	0 m ²	294,390 m ² 287,688 m² 279,977 m ²	借用面積3,190m ²		
	合 計	662,889 m ²	0 m ²	0 m ²	662,889 m ²	坂本1団地の高度感染症研究センター、文教町2団地の国際交流宿舎を新営することに伴う附属研究所敷地と寄宿舎敷地への区分の変更。(5) 坂本2団地の管理棟、文教町2団地の薬園聖交流会館を新営することに伴う校舎敷地と運動場用地の区分の変更。(4)		
(2) 校 舎	専 用	189,861 m ² 185,469 m² 187,993 m ²	0 m ²	0 m ²	189,861 m ² 185,469 m² 187,993 m ²	医歯薬学先端融合教育研究棟の改修等に伴い、建物内の区分の変更があったため。(5) 総合研究棟（医歯薬学系）の改修、教育学部本館の組織変更に伴い、建物内の区分の変更があったため。(4)		
	(187,993m ²)	(0m ²)	(0m ²)	(187,993m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	107 室 109 室 110 室	219 室 226 室 223 室	524 室 534 室 482 室	19 室 20 室	5 室	大学全体 校舎改修や組織変更等に伴い、建物内の区分の変更があったため。(5) 校舎改修や組織変更等に伴い、建物内の区分の変更があったため。(4)	
	(補助職員 3人)	(補助職員 1人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称						専任教員数に変更があったため(5) 専任教員数に変更があったため(4)	
	プラネタリーヘルス学環				40 39 41 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	プラネタリーヘルス学環に係る数量は特定不能なため、大学全体の数 【図書、学術雑誌、視聴覚資料】 令和5年5月1日現在の数値に変更 (5) 令和4年5月1日現在の数値に変更 (4) 【機械・器具】 新規取得による増加 (5) 新規取得による増加 (4) 【標本】 除却による減少 (5)
	プラネタリーヘルス学環	995,000 [289,000] 995,000 [290,000] 1,033,000 [296,000]	24,900 [7,300] 24,600 [7,200] 25,000 [7,300]	23,300 [22,000] 23,400 [21,900] 27,000 [25,300]	5,990 6,110 6,490	17,427 16,836 15,301	76 78	
	計	(989,000 [289,000]) (987,000 [289,000]) (1,018,000 [294,000])	(24,900 [7,900]) (24,700 [7,300]) (24,900 [7,300])	(23,300 [22,000]) (22,400 [21,000]) (24,000 [22,600])	(5,830) (5,820) (5,900)	(17,427) (16,836) (15,301)	(76) (78)	
(6) 図 書 館	面 積	10,758 m ²	閱 覧 座 席 数	1,326 1,358	取 納 可 能 冊 数	959,527 969,638	大学全体 令和5年5月1日現在の数値に変更 (5)	
	面 積	12,541m ²	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要	弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等	大学全体			

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	-	400	学士(多文化社会学)	1.01	-	1.13	1.02	-	平成26	長崎市文教町1-14						
教育学部 学校教育教員養成課程	4	180	-	720	学士(教育学)	1.00	-	1.03	1.00	-	平成10	長崎市文教町1-14						
経済学部 経済総合学科	4	295	3年次 15	1,300	学士(経済学)	1.00	-	1.07	1.01	-	平成9	長崎市片淵4-2-1	令和5年4月 定員変更(△30)					
医学部 医学科 保健学科	6 4	115 116	2年次 5 10	740 454	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学)	1.00 1.00	- -	1.04 0.98	1.00 -	令和5 -	昭和24 平成13	長崎市坂本1-12-4 長崎市坂本1-7-1	令和5年4月 定員変更(10)					
歯学部 歯学科	6	50	-	300	学士(歯学)	1.00	-	1.01	0.98	-	昭和54	長崎市坂本1-7-1						
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	- -	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.04 1.03	- -	1.03 1.04	1.00 0.99	- -	平成18 昭和61	長崎市文教町1-14 同上						
情報データ科学部 情報データ科学科	4	120	-	450	学士(情報データ科学)	1.03	-	1.03	-	令和5	令和2	長崎市文教町1-14	令和5年4月 定員変更(10)					
工学部 工学科	4	330	-	1,320	学士(工学)	1.00	-	1.05	1.00	-	平成23	長崎市文教町1-14						
環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	530	学士(環境科学)	1.03	-	1.06	1.03	-	平成9	長崎市文教町1-14						

大学の名称		長崎大学									平均入学定員超過率7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
水産学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
水産学科	4	120	-	450	学士(水産学)	1.04	-	1.06	1.02	-	昭和48	長崎市文教町1-14	令和5年4月 定員変更(10)					
大学全体	-	1636	35	7064	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<プラネタリーヘルス学環（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 潔 <令和4年10月> 薬学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	平山 謙二 <令和4年10月> 医学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	神谷 保彦 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (医学) (英国)
		・実装科学特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	相賀 裕嗣 <令和4年10月> 博士(保健学)
		・保健システム特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	渡辺 知保 <令和4年10月> 保健学博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	青柳 潔 <令和4年10月> 医学博士
		・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	大西 眞由美 <令和4年10月> 博士(医学)
		・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 潔 <令和4年10月> 薬学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	平山 謙二 <令和4年10月> 医学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	神谷 保彦 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (医学) (英国)
		・実装科学特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	相賀 裕嗣 <令和4年10月> 博士(保健学)
		・保健システム特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	渡辺 知保 <令和4年10月> 保健学博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	青柳 潔 <令和4年10月> 医学博士
		・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	大西 眞由美 <令和4年10月> 博士(医学)
		・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 潔 <令和4年10月> 薬学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	平山 謙二 <令和4年10月> 医学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	神谷 保彦 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (医学) (英国)
		・実装科学特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	相賀 裕嗣 <令和4年10月> 博士(保健学)
		・保健システム特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	渡辺 知保 <令和4年10月> 保健学博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	青柳 潔 <令和4年10月> 医学博士
		・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	大西 眞由美 <令和4年10月> 博士(医学)
		・実務研修 ・ DrPHプロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有吉 紅也 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (医学) (英国)
		・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	金子 聡 <令和4年10月> 博士 (医学)
		・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	皆川 昇 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (生態学) (米国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	山本 太郎 <令和4年10月> 博士 (医学) 博士 (国際保健学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	高村 昇 <令和4年10月> 博士 (医学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	松田 尚樹 <令和4年10月> 博士 (薬学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	門司 和彦 <令和4年10月> 保健学博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	滝澤 克彦 <令和4年10月> 博士 (文学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有吉 紅也 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (医学) (英国)
		・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	金子 聡 <令和4年10月> 博士 (医学)
		・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	皆川 昇 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (生態学) (米国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	山本 太郎 <令和4年10月> 博士 (医学) 博士 (国際保健学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	高村 昇 <令和4年10月> 博士 (医学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	松田 尚樹 <令和4年10月> 博士 (薬学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	門司 和彦 <令和4年10月> 保健学博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	滝澤 克彦 <令和4年10月> 博士 (文学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有吉 紅也 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (医学) (英国)
		・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	金子 聡 <令和4年10月> 博士 (医学)
		・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	皆川 昇 <令和4年10月> Doctor of Philosophy (生態学) (米国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	山本 太郎 <令和4年10月> 博士 (医学) 博士 (国際保健学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	高村 昇 <令和4年10月> 博士 (医学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	松田 尚樹 <令和4年10月> 博士 (薬学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	門司 和彦 <令和4年10月> 保健学博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	滝澤 克彦 <令和4年10月> 博士 (文学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 幸宏 ＜令和4年10月＞ 博士(数理学)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	深浦 厚之 ＜令和4年10月＞ 博士(経済学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	大嶺 聖 ＜令和4年10月＞ 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	阪倉 良孝 ＜令和4年10月＞ 博士(農学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	植木 優夫 ＜令和4年10月＞ 博士(環境学)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	持田 恵一 ＜令和4年10月＞ 博士(理学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	吉田 文彦 ＜令和4年10月＞ 国際公共政策博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	青木 恒憲 ＜令和4年10月＞ Master of Public Health (公 衆衛生学) (白国)
		・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 幸宏 ＜令和4年10月＞ 博士(数理学)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	深浦 厚之 ＜令和4年10月＞ 博士(経済学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	大嶺 聖 ＜令和4年10月＞ 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	阪倉 良孝 ＜令和4年10月＞ 博士(農学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	植木 優夫 ＜令和4年10月＞ 博士(環境学)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	持田 恵一 ＜令和4年10月＞ 博士(理学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	吉田 文彦 ＜令和4年10月＞ 国際公共政策博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	教授	青木 恒憲 ＜令和4年10月＞ Master of Public Health (公 衆衛生学) (白国)
		・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 幸宏 ＜令和4年10月＞ 博士(数理学)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	深浦 厚之 ＜令和4年10月＞ 博士(経済学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	大嶺 聖 ＜令和4年10月＞ 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	阪倉 良孝 ＜令和4年10月＞ 博士(農学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	植木 優夫 ＜令和4年10月＞ 博士(環境学)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	持田 恵一 ＜令和4年10月＞ 博士(理学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	吉田 文彦 ＜令和4年10月＞ 国際公共政策博士
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	教授	青木 恒憲 ＜令和4年10月＞ Master of Public Health (公 衆衛生学) (白国)
		・実務研修 ・ DrPHプロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上條 由紀子 ＜令和4年10月＞ 修士(工学)
		・ 渉外マネジメント特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	松井 三明 ＜令和4年10月＞ 博士(医学)
		・ 組織マネジメント特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	NGUYEN HUY TIEN ＜令和4年10月＞ 博士(学術)
		・ 政策分析法特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	MARCO LIVERRANI ＜令和4年10月＞ Doctor of Philosophy (社会学) (英国)
		・ 政策過程特論 ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	成田 真樹子 ＜令和4年10月＞ 博士(経済学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	河村 有教 ＜令和4年10月＞ 博士(法学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN ＜令和4年10月＞ 博士(人間科学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	小松 悟 ＜令和4年10月＞ 博士(学術)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上條 由紀子 ＜令和4年10月＞ 修士(工学)
		・ 渉外マネジメント特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
兼任	講師	松井 三明 ＜令和4年10月＞ 博士(医学)
		・ 組織マネジメント特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	NGUYEN HUY TIEN ＜令和4年10月＞ 博士(学術)
		・ 政策分析法特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	MARCO LIVERRANI ＜令和4年10月＞ Doctor of Philosophy (社会学) (英国)
		・ 政策過程特論 ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	成田 真樹子 ＜令和4年10月＞ 博士(経済学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	河村 有教 ＜令和4年10月＞ 博士(法学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN ＜令和4年10月＞ 博士(人間科学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
専	准教授	小松 悟 ＜令和4年10月＞ 博士(学術)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上條 由紀子 ＜令和4年10月＞ 修士(工学)
		・ 渉外マネジメント特論※ ・ 実務研修 ・ プロジェクト演習
兼任	講師	松井 三明 ＜令和4年10月＞ 博士(医学)
		・ 組織マネジメント特論※ ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	准教授	NGUYEN HUY TIEN ＜令和4年10月＞ 博士(学術)
		・ 政策分析法特論※ ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	准教授	MARCO LIVERRANI ＜令和4年10月＞ Doctor of Philosophy (社会学) (英国)
		・ 政策過程特論 ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	准教授	成田 真樹子 ＜令和4年10月＞ 博士(経済学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	准教授	河村 有教 ＜令和4年10月＞ 博士(法学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	准教授	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN ＜令和4年10月＞ 博士(人間科学)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト
専	准教授	小松 悟 ＜令和4年10月＞ 博士(学術)
		・ プラネタリーヘルス特論※ ・ 実務研修 ・ DrPHプロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和4年10月> 博士(国際経済法学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	細田 尚美 <令和4年10月> 博士(地域研究)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	MASON SHANNON LEE <令和4年10月> Doctor of Philosophy(応用言語学)(豪州国)
		・渉外マネジメント 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	藤岡 貴浩 <令和4年10月> Doctor of Philosophy(環境工学)(豪州国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	西川 貴文 <令和4年10月> 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	佐々木 謙二 <令和4年10月> 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	昔 宣希 <令和4年10月> 博士(経済学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	助教	吉岡 浩太 <令和4年10月> Doctor of Public Health(公衆衛生学)(米国)
		・保健システム特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和4年10月> 博士(国際経済法学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	細田 尚美 <令和4年10月> 博士(地域研究)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	MASON SHANNON LEE <令和4年10月> Doctor of Philosophy(応用言語学)(豪州国)
		・渉外マネジメント 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	藤岡 貴浩 <令和4年10月> Doctor of Philosophy(環境工学)(豪州国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	西川 貴文 <令和4年10月> 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	佐々木 謙二 <令和4年10月> 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	昔 宣希 <令和4年10月> 博士(経済学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	准教授	吉岡 浩太 <令和4年10月> Doctor of Public Health(公衆衛生学)(米国)
		・保健システム特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和4年10月> 博士(国際経済法学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	細田 尚美 <令和4年10月> 博士(地域研究)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	MASON SHANNON LEE <令和4年10月> Doctor of Philosophy(応用言語学)(豪州国)
		・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	藤岡 貴浩 <令和4年10月> Doctor of Philosophy(環境工学)(豪州国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	西川 貴文 <令和4年10月> 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	佐々木 謙二 <令和4年10月> 博士(工学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	昔 宣希 <令和4年10月> 博士(経済学)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	准教授	吉岡 浩太 <令和4年10月> Doctor of Public Health(公衆衛生学)(米国)
		・保健システム特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐藤 美穂 <令和4年10月> 博士(医学)
		・実装科学特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
専	助教	XERXES SEPOS0 TESORO <令和4年10月> 博士(ヒューマン・ケア)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	國井 修 <令和4年10月> 医学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※
兼任	講師	JOHN EDMUNDS <令和4年10月> Doctor of Philosophy(疫学) (英国)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	橋爪 真弘 <令和4年10月> Doctor of Philosophy(医学) (英国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐藤 美穂 <令和4年10月> 博士(医学)
		・実装科学特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	XERXES SEPOS0 TESORO <令和4年10月> 博士(ヒューマン・ケア)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	國井 修 <令和4年10月> 医学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※
兼任	講師	JOHN EDMUNDS <令和4年10月> Doctor of Philosophy(疫学) (英国)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	橋爪 真弘 <令和4年10月> Doctor of Philosophy(医学) (英国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐藤 美穂 <令和4年10月> 博士(医学)
		・実装科学特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	教授	春日 文子 <令和5年4月> 博士(農学)
		・実務研修 ・DrPHプロジェクト
専	助教	Madaniyazi Lina <令和5年4月> Doctor of Philosophy(環境 疫学)(豪州国)
		・実務研修 ・DrPHプロジェクト
兼任	教授	西村 宣彦 <令和5年4月> 博士(経営学)
		・組織マネジメント特論 ・渉外マネジメント特論
兼任	講師	XERXES SEPOS0 TESORO <令和4年10月> 博士(ヒューマン・ケア)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
兼任	講師	國井 修 <令和4年10月> 医学博士
		・グローバルヘルス ガバナンス特論※
兼任	講師	JOHN EDMUNDS <令和4年10月> Doctor of Philosophy(疫学) (英国)
		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト
兼任	講師	橋爪 真弘 <令和4年10月> Doctor of Philosophy(医学) (英国)
		・プラネタリーヘルス 特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山下 淳司 <令和4年10月> 修士(経営学)
		・組織マネジメント特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	神谷 祐介 <令和4年10月> 博士(国際公共政策)
		・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	JUDD WALSON <令和4年10月> Master of Public Health(公衆衛生学)(米国)
		・実装科学特論※
兼任	講師	BT Slingsby <令和4年10月> Doctor of Medicine(医学)(米国)
		・グローバルヘルスガバナンス特論※
兼任	講師	CHRIS NG FOOK SHENG <令和4年10月> 博士(保健学)
		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山下 淳司 <令和4年10月> 修士(経営学)
		・組織マネジメント特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	神谷 祐介 <令和4年10月> 博士(国際公共政策)
		・実務研修 ・プロジェクト演習
兼任	講師	JUDD WALSON <令和4年10月> Master of Public Health(公衆衛生学)(米国)
		・実装科学特論※
兼任	講師	BT Slingsby <令和4年10月> Doctor of Medicine(医学)(米国)
		・グローバルヘルスガバナンス特論※
兼任	講師	CHRIS NG FOOK SHENG <令和4年10月> 博士(保健学)
		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山下 淳司 <令和4年10月> 修士(経営学)
兼任	講師	神谷 祐介 <令和4年10月> 博士(国際公共政策)
		・実務研修 ・DrPHプロジェクト
兼任	講師	JUDD WALSON <令和4年10月> Master of Public Health(公衆衛生学)(米国)
		・実装科学特論※
兼任	講師	BT Slingsby <令和4年10月> Doctor of Medicine(医学)(米国)
		・グローバルヘルスガバナンス特論※
兼任	講師	CHRIS NG FOOK SHENG <令和4年10月> 博士(保健学)
		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・DrPHプロジェクト

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・松井三明准教授が他大学へ転出となったため、就任辞退。
- ・XERXES SEPOS0 TESORO助教が他大学へ転出のため就任辞退。
- ・吉岡浩太助教が准教授に昇任。

【令和5年度】

- ・山下淳司講師が所属先の業務の都合上により就任辞退。
- ・令和5年3月31日付で上條由紀子教授が他大学へ転出。
- ・令和5年4月1日付で春日文子教授が専任教員に就任。
- ・令和5年4月1日付でMadaniyazi Lina助教が専任教員に就任。
- ・令和5年4月1日付で西村宜彦教授が兼任教員に就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものと定める教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
24	14	0	3	41	0	24	14	0	2	40	0
(24)	(14)	(0)	(3)	(41)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
うち教授数			うち教授数								
41	24	0	0			40	24	0	0		
(41)	(24)	0	0			(40)	(24)	0	0		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
24	14	0	2	40	0	24	14	0	3	41	0
[]	[]	[]	[Δ]	[Δ]	[]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
うち教授数			うち教授数								
40	24	0	0			41	24	0	0		
[Δ]	[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	6	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{41} = \boxed{97.56} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{6}{40} = \boxed{15} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	松井 三明	R4.4	必修	組織マネジメント特論	②	R4.4.30付け他大学への転出のため就任辞退						
				必修	実務研修	①							
				必修	DrPHプロジェクト	①							
2	助教	XERXES SEPOSU TESORO	R4.3	必修	政策分析法特論	①	R4.3.31付け他大学への転出のため就任辞退						
				必修	実務研修	①							
				必修	DrPHプロジェクト	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
2	人	必修	4	科目	必修	3	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	3	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	上條 由紀子	R5.3	必修	渉外マネジメント特論	②	R5.3.31付け他大学への転出のため						
				必修	実務研修	①							
				必修	DrPHプロジェクト	①							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
1	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	2	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
3	人	必修	7	科目	必修	5	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	5	科目	計	2	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{41} = 7.31\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)
0		0 科目		0 科目		0 科目
		必修	0 科目	必修	0 科目	必修
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由
		計	0 科目	計	0 科目	計

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>他大学へ転出となった専任教員の授業科目は兼任教員が担当することから、カリキュラムに影響はないと考える。学生への周知については、学環ホームページから当該教員に関する情報を削除するとともに、メール等で相談があった際に連絡することとしている。</p>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<プラネタリーヘルス学環>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム運営会議 ・プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム教授会 ・プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム代議員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議 令和4年10月から令和5年4月 1回開催（参加率100%） ・教授会 令和4年10月から令和5年4月 案件無しのため開催なし ・代議員会 令和4年10月から令和5年4月 2回開催（参加率100%） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム運営会議 管理運営事項 ・プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム教授会 教務に係る重要事項（修了判定等） ・プラネタリーヘルス学環DrPHプログラム代議員会 教務に係る事項のうち教授会に委任された事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>全学FD・SD「長崎大学がなぜ『地球の健康（Planetary Health）』に取り組むのか」</p> <p>b 実施方法</p> <p>長崎大学授業ツール「LACS」によるオンデマンド配信</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和5年4月24日（月）～令和5年8月31日（木）（予定）</p> <p>長崎大学全職員を対象（非常勤を含む。）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学授業振り返り（各授業科目ごと） ・DrPH授業アンケート（各授業科目ごと） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学授業振り返り 原則公開なし ・DrPH授業アンケート 科目責任者・教務担当教員に公開し、授業の点検・評価に活用
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後さらに教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和5年度（予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・次期評価期間内（2022～2028年）に受審予定（受審時期検討中）

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。